

編集方法

化学科ウェブサーバへ接続

MacOSの場合

Windowsの場合

フォルダーに移動

文書ファイルの形式

文書ファイルの構成

フロントマター

本文

Markdown書式

プレビュー

本番サイトへ反映

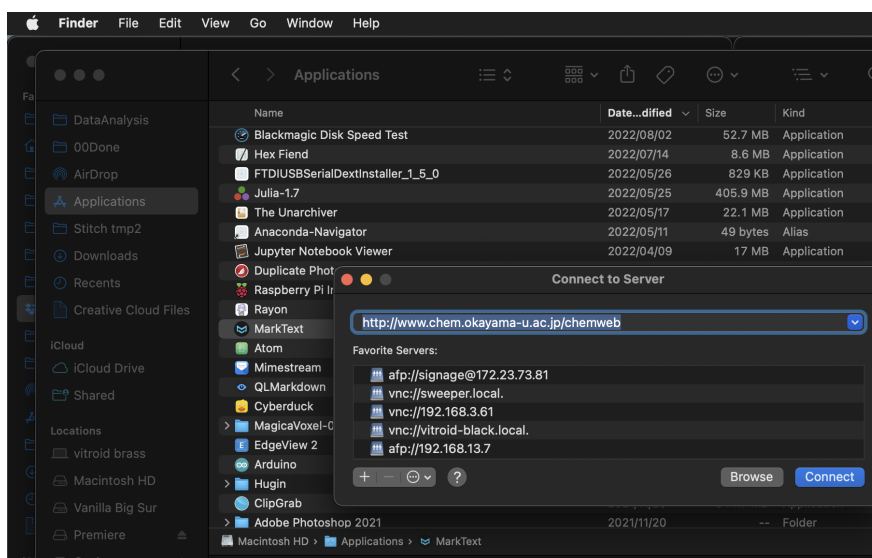
備考

化学科ウェブサーバへ接続

コンテンツはウェブサーバ上にあり、WebDAVプロトコルでアクセスできます。(学内からのみ)

MacOSの場合

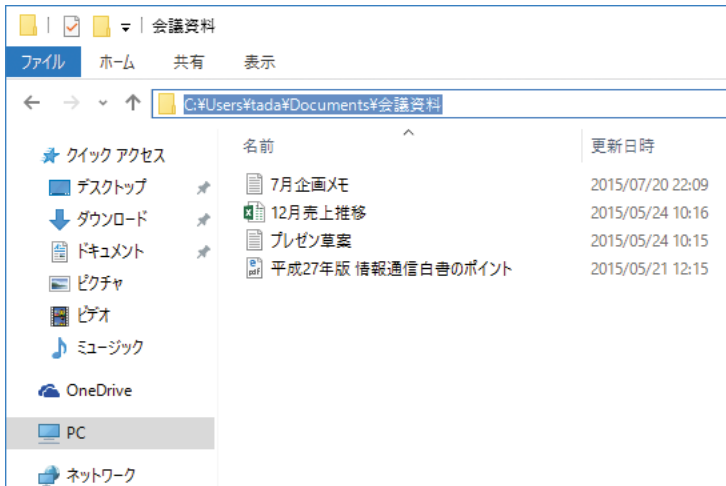
1. Finderで⌘K押し、<http://www.chem.okayama-u.ac.jp/chemweb>にアクセスします。
(学内からのみ)



2. 「ゲスト」を選択します。ゲストで接続できない場合は、研究室ごとのアカウントとパスワードでも接続できるはずですが、不明な場合は松本までお尋ね下さい。

Windowsの場合

1. Explorer (Internet Explorer/Microsoft Edgeのことではありません) で、PC→「ネットワークの場所の追加」を選び、ダイアログに従って <http://www.chem.okayama-u.ac.jp/chemweb> を入力します。(学内からのみ)



フォルダーに移動

ディレクトリが細かく分かれています。おおまかに言って、文書は `content/` 以下に置き、画像やpdfなどのファイルは `static/` 以下に置きます。これらの場所が違うのは、前者が多言語に対応する必要があるのに対し、後者は共通だからです。例えば、教員の個人ページは、`content/faculty` の中にあります。

以下に、主要なフォルダーの用途を示します。

フォルダー	用途
<code>content/about</code>	「化学科について」記事。今は未使用
<code>content/bachelor</code>	学部入学情報記事
<code>content/blog</code>	ニュース記事(過去のできごと)
<code>content/contact</code>	「お問い合わせ」記事
<code>content/event</code>	イベント記事(これからの予定)
<code>content/faculty</code>	教員紹介
<code>content/graduate</code>	大学院関連記事
<code>content/internal</code>	学科内向け記事
<code>content/laboratory</code>	研究室紹介
<code>content/research-topic</code>	注目の研究の紹介
<code>static/images</code>	画像置き場
<code>static/pdf</code>	PDF置き場

文書ファイルの形式

文書ファイルの拡張子は `.ja.md` (日本語)または `.en.md` (英語)です。ただのプレーンテキストファイルなので、テキストエディタでも編集できますが、[MarkText](#)の利用をおすすめします。[VSCode](#)もおすすめです。

新しい記事を作成する場合は、すでにある記事(`1.ja.md` など)をコピーして書きかえて下さい。次節で説明するように、ページの先頭部分にある「フロントマター」とよばれるパラメータ定義部分が正しく書かれていないと、意図しない場所に表示される可能性がありますので、新規作成はおすすめしません。

文書ファイルの構成

フロントマター

文書ファイルの先頭に、`---`で上下を区切られたブロックがあります。このブロックの中はページの設定(見出し画像やキーワード、リンクなど)を書きます。この部分はtoml形式です。

教員の肖像写真や、研究室の見出し写真、ヘッダ部分の横長の画像もここで指定します。

データ書式に従わない書き方だとエラーが生じる場合があります。編集する場合はご注意ください。

本文

本文は、上記のブロックの下にMarkDown書式で書きます。

MarkDown書式




テキストファイルに記号を追加することで、簡単に書式を指定する書き方です。書き方については、リンク先をご参照下さい。

Hugo で使える Markdown の記法・k-kaz が Hugo で遊ぶサイト
自分用によく使う Markdown をまとめます。
 <https://k-kaz-git.github.io/post/hugo-markdown/>

MarkDownにはhtmlを混ぜこむことができます。しかし、htmlを多用すると、ウェブページのレイアウトの統一性を損ねるので、まったくおすすめできません。MarkDown形式で書けない場合に限り、htmlを利用して下さい。

MarkTextを使えば、MarkDown書式を覚えなくても、文章を整形できます。

(注: MarkTextはいろいろバグも多い感じですが、フロントマターと本文を分けて編集できるところが便利です。もっと便利な方法を見付けたら教えて下さい。)

GitHub - marktext/marktext:  A simple and elegant markdown editor, available for Linux, macOS and Windows. - GitHub - marktext/marktext:  A simple and elegant markdown editor, available for Linux, macOS and Windows.
 <https://github.com/marktext/marktext#download-and-installation>

プレビュー

プレビューサイト <http://www.chem.okayama-u.ac.jp:1313> で即時にプレビューできます。(学内からのみ)

本番サイトへ反映

化学科のウェブページに公開する作業は、24時間に一回自動で行っています。また、そのタイミングでバックアップを作成します。編集に失敗してコンテンツを壊してしまった場合には、管理者までお知らせ下さい。いつでも復元可能です。

備考

- 学内からしか見えないコンテンツを置く場所はありません。つまり、セキュリティ上、保護しなければならないコンテンツは、化学科ウェブページ上には一切ありません。
- 編集はウェブページとは別の場所で行いますので、ウェブページが攻撃されても乗っ取られることはありません。